

さらにステップアップしたい社会人の皆様へ
 産学連携の学位プログラムで
 あなたの知を **博士(工学)** に変えます
キャリアアップ に繋がります

筑波大学大学院
 リスク・レジリエンス
 工学学位プログラムは
 社会人を積極的に
 受け入れます。

現代社会にひそむ無数の「リスク」 有事からしなやかに復旧する「レジリエンス」

リスク・レジリエンス工学学位プログラムでは、
 AI(人工知能)やデータサイエンスなどの先端技術も
 活用しながら、リスクを多角的に分析し、
 レジリエンス社会の実現に貢献できる人材を養成します。

現代社会で必要とされる 4つの研究分野で構成

リスク・レジリエンス基盤

情報システム・セキュリティ

都市防災・社会レジリエンス

環境・エネルギーシステム

協働大学院方式によるハイブリッドな教育システム

本学の専任教員に加え、レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに参画する15の企業・研究機関の専門家があなたの知を涵養します。

協働大学院方式



レジリエンス研究教育推進コンソーシアム



修了生の声

株式会社東急総合研究所
 真城 源学 さん

博士後期課程早期修了プログラム 修了
 令和6年3月 博士(工学)取得



自身の研究実績の整理整頓作業を通して、より
 高い研究能力を修得したいと考えていました。この実現には、博士号取得
 が一番の近道であるとわかってはいたものの、多くの時間と費用がかか
 る、自身の研究能力向上にマッチした環境があるかなど、様々なハードル
 があると捉えていました。

しかし、早期修了プログラムの理解が深まるにつれて、あきらめの気
 持ちから、チャレンジしてみたいという意欲が湧いていくのが実感できま
 した。実際、入学してみると、精度の高い自己評価の仕組みや、先生方の
 レベルの高い指導、充実した事務的サポートが用意されていて、働きなが
 ら無理なく研究生活を過ごすことができました。

今後は、博士として、その高いプレゼンスを発揮し、自身の研究能力に
 磨きをかけ、レジリエントな社会の実現に貢献したいと思っています。

詳しくは <https://r2ec.jp>

Q レジリエンス研究教育推進コンソーシアム



筑波大学
 University of Tsukuba



リスク・レジリエンス工学 学位プログラム
 Master's / Doctoral Program in Risk and Resilience Engineering

本プログラムの教員と研究テーマ

リスク・レジリエンス基盤分野

協働大学院教員

日本自動車研究所

教授 安部原也 ドライバ行動, 自動車安全性, 自動運転
准教授 北島創 自動運転, 認知科学, ヒューマンエラー分析

労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

准教授 岡部康平 労働災害, 安全設計, 協働ロボット, 介護機器

産業技術総合研究所

准教授 佐藤稔久 運転行動の計測・モデル化, 運転の楽しさ

専任教員

教授 伊藤誠 安全性, 信頼性, ヒューマンファクター
教授 イリチュ(佐藤)美佳 統計科学, ソフトコンピューティング
教授 遠藤靖典 クラスタリング, 機械学習, データ解析
教授 尾崎幸謙* 構造方程式モデリング, テスト理論, マルチレベルモデル
准教授 高安亮紀 数値解析, 精度保証付き数値計算, 無限次元力学系
准教授 伴正隆* マーケティングサイエンス, ベイズ統計学
准教授 古川宏 認知インタフェース, モバイル, 教育・知識
助教 崔子歆 ヒューマンインタフェース, インタラクション
助教 齊藤裕一 人間機械系, システム安全制御
助教 三崎広海 計量経済学, ファイナンス, ビッグデータ

情報システム・セキュリティ分野

協働大学院教員

セコム株式会社

准教授 島岡政基 認証基盤, トラスト, セキュリティ研究倫理

専任教員

教授 面和成 ネットワークセキュリティ, 暗号技術の応用
教授 津田和彦* 自然言語処理, 情報検索, ソフトウェア工学
准教授 西出隆志 公開鍵暗号とその理論, 暗号プロトコル設計
准教授 干川尚人 ネットワークシステム, DX, 安否確認
准教授 吉田光男* 計算社会科学, ウェブ情報学, 自然言語処理
助教 高橋大成 ブロックチェーン, 暗号プロトコル

都市防災・社会レジリエンス分野

協働大学院教員

防災科学技術研究所

教授 臼田裕一郎 防災情報, 災害動態解析, 意思決定支援
教授 酒井直樹 災害リスク, IoT/AI, リモートセンシング
教授 藤原広行 地震・津波に対するハザード・リスク評価

専任教員

教授 鈴木勉 都市解析, 空間情報科学
教授 谷口綾子 都市交通計画, リスク・コミュニケーション
准教授 梅本通孝 人的被害軽減のための都市・地域ソフト防災
助教 木下陽平 衛星測地技術の気象利用, SAR, MaaS 利用

環境・エネルギーシステム分野

協働大学院教員

産業技術総合研究所

教授 加藤和彦 太陽光発電システム, 火災・感電リスク
教授 田原聖隆 ライフサイクル評価, インベントリデータベース
准教授 頭士泰之 化学物質リスク, ケモインフォマティクス

電力中央研究所

准教授 上野剛 エネルギー需要分析, 省エネ

専任教員

教授 岡島敬一 新エネルギー技術・システム評価
教授 庄司学 構造信頼性, 地震・津波災害, ライフライン
教授 羽田野祐子 環境動態, 放射性核種, 福島事故, エアロゾル
准教授 鈴木研悟 エネルギーシステム, 機械学習, ゲーミング
助教 秋元祐太郎 燃料電池, 非破壊診断, 再エネ・EV の融合

*印は東京キャンパス常駐教員です。

興味のある研究室の教員に
アポを取ってご相談ください!

本プログラムの社会人を応援する制度

多様なキャリアに応える入学制度

- これまでの研究業績や経験を活かして**社会人特別選抜**が受けられます。
- **4月、10月入学**から選べます。
- 修士の学位がなくても、事前の出願資格審査を経て、出願が可能となります。

柔軟で充実した研究指導体制

- 希望する指導教員が所属する機関で、研究指導が受けられます。
- **複数指導体制**(3名)により、大学の専任教員と協働大学院教員の両方から研究指導を受けることもできます。
- 東京キャンパス常駐教員を指導教員に指名することにより、夜間や土曜日に東京で研究指導を受けられます。

自分に合わせた学びのスケジュール設計

- **早期修了プログラム**により最短1年間で博士号を取得することも可能。(履修審査あり)
- **長期履修制度**を利用すれば、トータルの学費負担は変わらず学修期間を最大5年間に延長できます。
- 土日の集中講義や東京キャンパスで開講する授業も受けられます。

達成度評価によるきめ細かな学修サポート

- 本学独自の**達成度評価システム**により、目標に対する自らの学修達成度を**定量的に把握**できます。
- 年2回の個別面談により複数教員よりフィードバックを受け、その結果を学修の改善に役立てることができます。

本プログラムは厚生労働省「教育訓練給付制度(一般教育訓練)」に指定されました
修了後に所定の手続きを経て教育訓練経費(支払った授業料)の一部が支給されます(但し、社会人特別選抜による入学者に限る)。

博士前期(修士)課程もあります。詳しくはプログラムサイトをご覧ください。 <https://www.risk.tsukuba.ac.jp/>

